

■コメント

1. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は8件(エイズ患者1件、HIV感染者7件)となりました。最も報告の多かった2009年の同時期を上回るペースで報告されています。

届出のあった8件の感染経路(推定)は性行為によるものです。

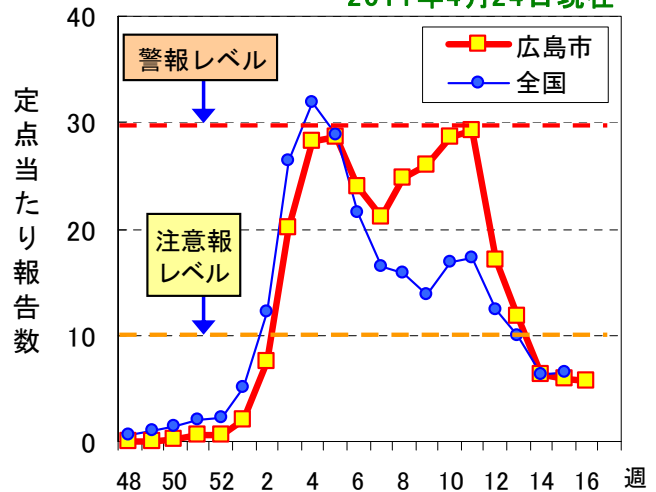
2. インフルエンザ

定点当たり5.65人とほぼ横ばいで推移しています。また、集団かぜによる学級閉鎖等も、第16週に3施設、第17週もすでに2施設(4月26日現在)報告されています。

連休中は学校や仕事は休みになりますが、外出などで混雑する場所へ出かけることが多く、感染機会が増えると考えられます。引き続き手洗いの励行など感染予防に心がけてください。

インフルエンザ

2011年4月24日現在



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	209	5.65	3.21	→	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.06	
咽頭結膜熱	9	0.38	0.19		流行性耳下腺炎	16	0.67	0.67	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	1.70	↗	RSウイルス感染症	4	0.17	0.02	
感染性胃腸炎	249	10.38	8.38	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	29	1.21	1.63	→	流行性角結膜炎	9	1.13	0.78	
手足口病	23	0.96	1.19	↑	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	19	0.79	0.28	↗	無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
突発性発しん	13	0.54	0.79		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.46	
百日咳	3	0.13	0.17		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	76	女性(30歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
5	アメーバ赤痢	1	3	男性(60歳代)・推定感染地域: 国外
5	後天性免疫不全症候群	1	8	男性(20歳代)・感染者
5	梅毒	1	3	男性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第12週	632	7	29	278	30	12	8	13	1	1	17	4	-	3	-	1	-
		第13週	432	7	32	274	29	4	16	11	1	-	16	2	1	4	-	1	-
		第14週	230	2	27	271	35	4	12	17	5	1	13	-	-	2	-	1	-
		第15週	221	7	26	276	28	7	12	5	6	2	12	2	-	6	-	-	-
		第16週	209	9	48	249	29	23	19	13	3	3	16	4	-	9	-	1	-
定点当り	広島市	第12週	17.08	0.29	1.21	11.58	1.25	0.50	0.33	0.54	0.04	0.04	0.71	0.17	-	0.38	-	-	0.14
		第13週	11.68	0.29	1.33	11.42	1.21	0.17	0.67	0.46	0.04	-	0.67	0.08	0.13	0.50	-	-	0.14
		第14週	6.22	0.08	1.13	11.29	1.46	0.17	0.50	0.71	0.21	0.04	0.54	-	-	0.25	-	-	0.14
		第15週	5.97	0.29	1.08	11.50	1.17	0.29	0.50	0.21	0.25	0.08	0.50	0.08	-	0.75	-	-	-
		第16週	5.65	0.38	2.00	10.38	1.21	0.96	0.79	0.54	0.13	0.13	0.67	0.17	-	1.13	-	-	0.14
全国		第14週	6.35	0.29	1.61	8.04	1.45	0.11	0.68	0.56	0.02	0.03	0.90	0.17	0.03	0.44	0.02	0.01	0.31
		第15週	6.42	0.31	1.94	8.83	1.34	0.17	0.69	0.61	0.02	0.03	0.89	0.19	0.01	0.46	0.03	0.02	0.35

■新たに判明した病原体検出状況

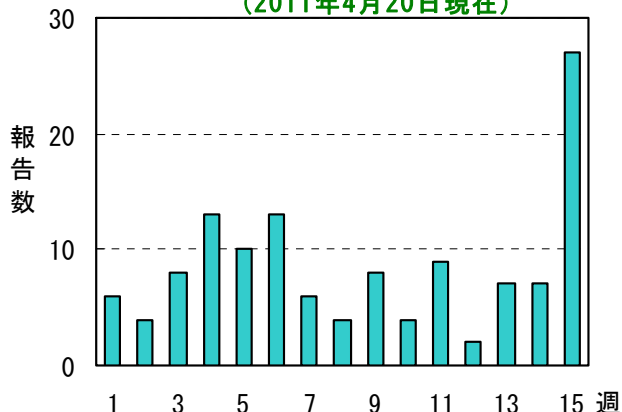
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0)	3	女	2011/04/12	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
インフルエンザ	発熱(37.5)	5	男	2011/04/08	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.5) 丘疹 紅斑 上気道炎	7	男	2011/03/11	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 ヒトヘルペスウイルス7型
感染性胃腸炎	発熱(39.0) 上気道炎 嘔吐 下痢	1	男	2011/01/24	糞便	エコーウイルス3型
感染性胃腸炎	下痢 腹痛	2	男	2011/03/11	糞便	アデノウイルス5型
無菌性髄膜炎	発熱(40.0) 嘔吐 髄膜炎 意識障害	1	男	2011/03/14	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
その他の呼吸器疾患(咽頭炎)	発熱(39.0) 上気道炎 下痢	1	男	2011/01/24	咽頭拭い液	エコーウイルス3型 RSウイルス
その他の消化器疾患(腸重積症)	発熱(40.0) 上気道炎	1	男	2011/03/11	糞便	サボウイルス
その他の疾患(痙攣重積)	発熱(39.0) 下痢 熱性痙攣	2	男	2011/01/17	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★関東地方で麻しん(はしか)患者が増加しています。

全国における麻しん報告数
(2011年4月20日現在)



東京都及び神奈川県において、第15週(4月11日～17日)に麻しん患者の報告が20件あり(国立感染症研究所感染症情報センターHPより)、増加がみられています。今後、これらの地域を中心に、麻しん患者が増加する可能性があります。

麻しんの感染力は非常に強く、麻しんの免疫を持たない集団で麻しんが発生すると、急速に感染が拡大するため注意が必要です。予防のためには予防接種が有効です。定期予防接種の対象年齢であるお子さんは、できるだけ早く予防接種を受けるようにしてください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第16週(4月18日～4月24日)